

# 市民参加による身近な生き物の分布調査 ～環境学習と地理分類～

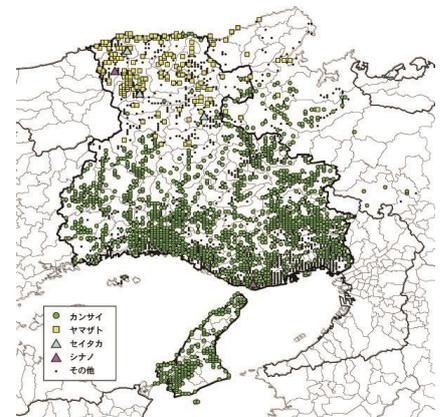
教員名：鈴木武

連絡先メールアドレス：suzuki[at]mark>hitohaku.jp

## ◎ どのような研究をしていて、どんなことに役立つのか？

タンポポ、ダンゴムシなどの身近な生き物の詳細な分布を市民参加型で調べています。広範囲の分布調査は一人でできるものではありません。小学生でも行える調査方法の開発、調査による環境学習の効果の研究を行っています。

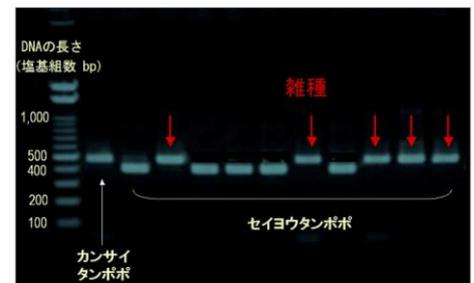
また得られたデータからは、近縁種の分布の違いなど生物地理学的解析とともに、隠蔽種などの分類学的研究にも発展することがあります。



兵庫県内での在来タンポポの分布

## ◎ 主な研究業績

- 1) 《兵庫県でのタンポポの生物地理》鈴木武・菅村定昌・武田義明(2012) 兵庫県および京都府北西部の在来タンポポの分布. 植物地理分類研究, 59:81-97.
- 2) 《西日本全域でのタンポポの分布》鈴木武(2013) 市民参加型調査からわかった西日本のタンポポ. 分類, 13:31-35.
- 3) 《神戸市周辺でのダンゴムシなどの分布》鈴木武・山本祐衣 神戸市周辺域のワラジムシ亜目の分布と環境要因～特にハナダカダンゴムシの分布拡大に注目して～. *Edaphologia*.in press



葉緑体 DNA による雑種タンポポの判定

## ◎ 学生に向けて一言

瀬戸内から日本海側まで様々な環境の広がる兵庫県はフィールドとして興味深い地域です。人と自然の博物館のもつ学校や市民へのネットワークからの展開もできます。

環境学習を研究テーマとする学校教員、いろいろな生き物の生物地理に関心のある学生、気軽に連絡ください。対象とする生物群も相談します。



神戸に広がる外来ハナダナダンゴムシ(右)